

Raritan AMS シリーズ インテリジェント電子アセット管理

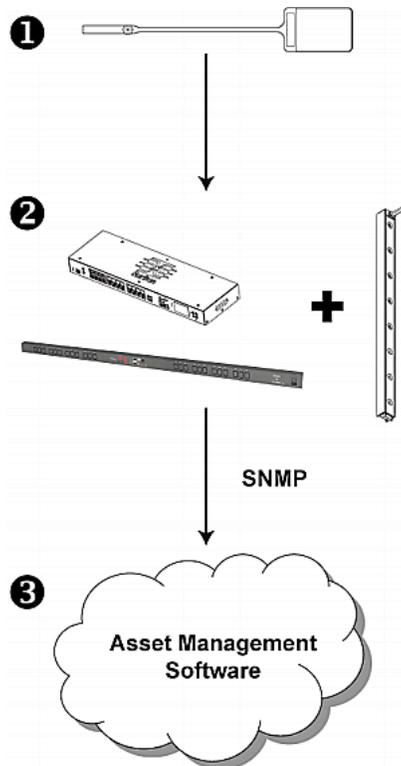
クイック セットアップ ガイド

Raritan AMS アセット管理センサー管理センサー (アセット センサー) をご購入いただきありがとうございました。このセンサーを Raritan EMX または特定の Dominion PX モデルと併用することによって、アセット管理ソリューションを提供できます。Raritan のアセット管理ソリューションでは、データ センターやサーバ ルームにある数十台または数百台もの IT デバイスの場所を追跡できます。

このクイック セットアップ ガイドでは、アセット センサーの設置および構成方法を説明します。アセット管理操作の詳細については、Raritan EMX または Dominion PX のユーザ ガイドを参照してください。これらは Raritan Web サイトの「Firmware and Documentation (ファームウェアとドキュメント)」セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) または「Product Online Help (製品オンライン ヘルプ)」セクション (<http://www.raritan.com/support/online-help/>) で入力できます。

アセット管理ソリューションの概要

アセット管理ソリューションでは、さまざまな Raritan アセット管理デバイスおよび Raritan またはサードパーティのアセット管理ソフトウェアが使用されます。



番号	説明
①	一意のアセット ID (バーコードと同一) を持つ Raritan アセット管理タグ (AMT)
②	アセット センサーが物理的に接続される Raritan アセット管理ゲートウェイ
③	Raritan またはサードパーティのアセット管理ソフトウェア (例: Raritan dcTrack)

Raritan またはサードパーティのアセット管理ソフトウェアは、SNMP によって Raritan アセット管理ゲートウェイを介して Raritan アセット センサーにアクセスできます。

次の表は、アセット管理の SNMP ゲートウェイとして機能できる Raritan のモデルとファームウェアのバージョンの一覧です。

製品	モデル	ファームウェアのバージョン
Raritan EMX	すべて	すべて
Dominion PX	モデル名が PX2 で始まる製品のみ	バージョン 2.2 以降

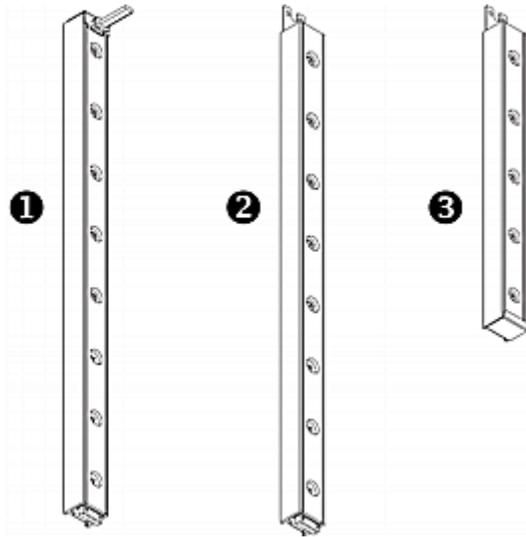
アセット ID がアセットに関連付けられている構成管理データベース (CMDB) は、ネットワーク ドライブに保存されます。このデータベースへのアクセスにはアセット管理ソフトウェアを使用できます。

アセット センサーの結合

資産センサーの各タグ ポートは、ラック ユニットに対応し、特定のラック (またはキャビネット) 上の IT デバイスを探すのに使用できます。ラックごとに、資産センサー (1 つのマスタ資産センサーと複

数のスレーブ資産センサーで構成される)を最長 64U まで接続できます。マスタ資産センサーとスレーブ資産センサーの違いは、前者には RJ-45 コネクタがあり、後者にはない点です。

次の図は、いくつかの資産センサーを示します。Raritan 社製の資産センサーには、これ以外のタイプもあります。



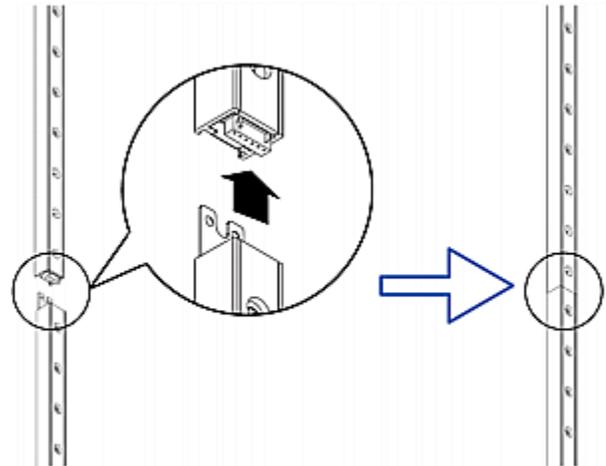
番号	項目
①	8 つのタグ ポートを搭載した 8U マスタ資産センサー
②	8 つのタグ ポートを搭載した 8U スレーブ資産センサー
③	5 つのタグ ポートを搭載した 5U 「エンド」スレーブ資産センサー

注: 通常のスレーブ資産センサーには DIN コネクタが両端に 1 つずつありますが、それとは異なり、エンド スレーブ資産センサーには一方の端にだけ DIN コネクタが 1 つあります。エンド資産センサーは、資産センサー アセンブリの端に装着されます。

▶ 資産センサーを組み立てるには、次の手順に従います。

- マスタ資産センサーを 8U スレーブ資産センサーに接続します。
 - スレーブ資産センサーの白いオス DIN コネクタをマスタ資産センサーの白いメス DIN コネクタに接続します。

- オス DIN コネクタの横にある U 型のシート メタルがマスタ資産センサーの背面スロットに挿入されていることを確認します。U 型のシート メタルをねじで締めて接続を補強します。



- 手順 1 と同じ方法で、別の 8U スレーブ資産センサーをマスタ資産センサーに接続されている資産センサーに接続します。
- 上記の手順を繰り返して、他のスレーブ資産センサーを接続します。資産センサー アセンブリの長さは、最長 64U です。
 - 最後の資産センサーは、ラックの実際の高さに応じて 8U または 5U にすることができます。
 - 最後の資産センサーには「エンド」資産センサーを使用することを強くお勧めします。
- 各タグ ポートをラック ユニットに横に並べて、IT 機器の横にあるラックに資産センサー アセンブリを縦に接続します。資産センサーは、背面に磁気タップが付いているため、磁力でラックに装着されます。

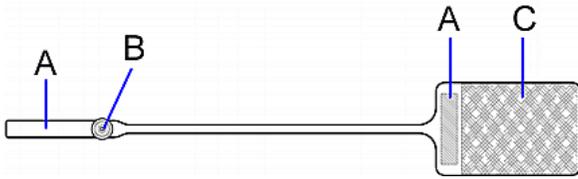
注: 資産センサーにはチルト センサーが搭載されているので、上下を逆にして装着することもできます。

Raritan SNMP ゲートウェイ へのアセット センサーの接続

Raritan EMX および Dominion PX デバイスは、アセット センサーを接続すると、アセット管理用の Raritan SNMP ゲートウェイとして機能します。この機能に対応する Raritan モデルについては、「アセット管理ソリューションの概要 [1p.]」を参照してください。

IT デバイスの追跡には、資産センサーと資産タグの両方が必要です。資産タグは、IT デバイスに貼付され、各 IT デバイスの ID 番号を示します。一方、資産センサーは、ID 番号と位置情報を、接続された Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスに転送します。

次の図は、資産タグを示します。



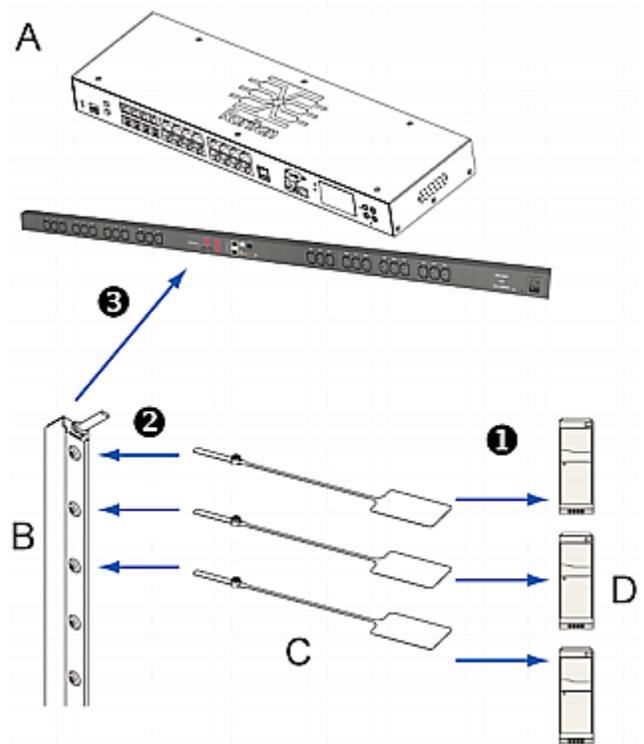
文字	項目
A	資産タグのいずれかの端にあるバーコード (ID 番号)。
B	タグ コネクタ
C	テープ付きの接着部分

注: 各資産タグのバーコードは一意で、Raritan SNMP ゲートウェイ Web インタフェースに表示されるので、簡単に識別できます。

▶ **資産センサーを Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスに接続するには、次の手順に従います。**

1. 資産タグの接着部分がある側をタグのテープを使用して各 IT デバイスに貼付します。
2. 各資産タグのもう一方の側にあるコネクタを資産センサーの対応するタグ ポートに接続します。
3. 次の手順に従って、ラックの資産センサー アセンブリを Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスに接続します。
 - a. カテゴリ 5e/6 ケーブルの一方の端をマスタ資産センサー上の RJ-45 コネクタに接続します。
 - b. ケーブルの一方の端を Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスの FEATURE ポートに接続します。

Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスは、カテゴリ 5e/6 ケーブルを使用して電力を資産センサー アセンブリに供給します。資産センサーのファームウェアが Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスによってアップグレードされている場合は、電源をオンにしたときに資産センサー アセンブリのすべての LED がさまざまな色で点滅を繰り返すことがあります。電源オンまたはファームウェアのアップグレード プロセスが完了すると、LED が点灯したままになります。タグ ポートの LED の色は、資産タグが接続されているかどうかによって異なります。



文字	項目
A	Raritan SNMP ゲートウェイ デバイス: Raritan EMX または Dominion PX
B	アセット センサー
C	アセット タグ
D	サーバなどの IT デバイス

注: サポートされるケーブルの最大長は、購入した Raritan SNMP ゲートウェイ のモデルによって異なります。お使いの Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスのユーザ ガイドを参照してください。

4. Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスに複数の FEATURE ポートがある場合は、上記の手順を繰り返し、アセット センサーを残りの FEATURE ポートに接続します。

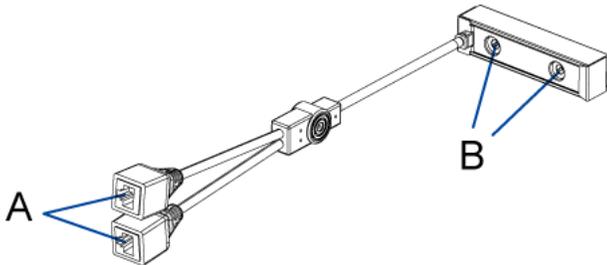
AMS-M2-Z アセット センサーの接続 (オプション)

AMS-M2-Z は、特殊なタイプの資産センサーで、通常のマスタ資産センサーと同じように機能しますが、以下の点で異なります。

- RJ-45 コネクタが 2 つあります。
- 複数の AMS-M2-Z 資産センサーをデジチェーン接続できます。

- 各 AMS-M2-Z で利用できるタグ ポートは 2 つだけなので、接続できる資産タグは 2 つだけです。

この製品は、キャビネット内の SAN ボックスなど大量のデバイスを追跡する際に特に便利です。

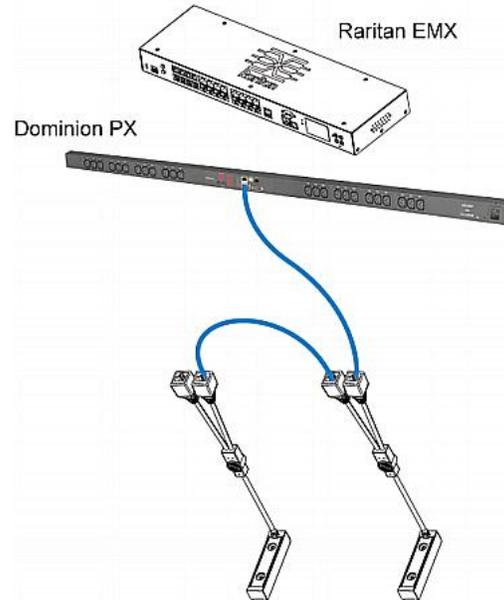


項目	説明
A	RJ-45 コネクタ
B	タグ ポート

▶ **AMS-M2-Z 資産センサーを Raritan SNMP ゲートウェイするには、次の手順に従います。**

- カテゴリ 5e/6 ケーブルを使用して AMS-M2-Z を Raritan SNMP ゲートウェイ に接続します。
 - ケーブルの一方の端を、AMS-M2-Z の「Input (入力)」というラベルが付いた RJ-45 ポートに接続します。
 - ケーブルのもう一方の端を Raritan SNMP ゲートウェイ の FEATURE ポートに接続します。
- 資産タグを IT デバイスに貼付し、タグ コネクタを AMS-M2-Z のタグ ポートに差し込んで、この資産タグを AMS-M2-Z に接続します。詳細については、「[Raritan SNMP ゲートウェイ への資産センサーの接続](#)」『2p. の「[Raritan SNMP ゲートウェイ へのアセット センサーの接続](#)」参照』を参照してください。
- 必要な場合は、複数の AMS-M2-Z をダイジーチェーン接続して、2 台以上の IT デバイスをこの Raritan SNMP ゲートウェイ で追跡します。
 - カテゴリ 5e/6 ケーブルの長さが制限内であることを確認します。ケーブル長の制限については、「[AMS-M2-Z ダイジーチェーンの制限](#)」『4p. 』を参照してください。
 - カテゴリ 5e/6 ケーブルの一方の端を、Raritan SNMP ゲートウェイ が接続されている AMS-M2-Z の「Output (出力)」というラベルが付いた RJ-45 コネクタに接続します。
 - ケーブルのもう一方の端を、AMS-M2-Z の「Input (入力)」というラベルが付いた RJ-45 ポートに接続します。
 - ここまでの手順を繰り返して、追加の AMS-M2-Z をダイジーチェーン接続します。チェーンでサポートされる AMS-M2-Z 資産センサーの最大数については、「[AMS-M2-Z ダイジーチェーンの制限](#)」『4p. 』を参照してください。

- すべての接続ケーブルの重量を支えるのに役立つケーブル タイを使用することを強くお勧めします。



- 手順 2 を繰り返して、資産タグを介して IT デバイスをチェーン内の他の AMS-M2-Z に接続します。

AMS-M2-Z ダイジーチェーンの制限

AMS-M2-Z アセット センサーをダイジーチェーン接続する場合にはいくつかの制限があります。制限は、最初の AMS-M2-Z に接続される Raritan モデルによって異なります。

モデル	ダイジーチェーンの制限
モデル名が PX2 で始まるすべての PDU	<ul style="list-style-type: none"> AMS-M2-Z を 2 台までダイジーチェーン接続可能。 チェーン内の各 AMS-M2-Z 間のケーブルの最大長は 2 メートル。
EMX2-111	<ul style="list-style-type: none"> AMS-M2-Z を 2 台までダイジーチェーン接続可能。 チェーン内の各 AMS-M2-Z 間のケーブルの最大長は 2 メートル。
EMX2-888	<ul style="list-style-type: none"> AMS-M2-Z を 6 台までダイジーチェーン接続可能。 チェーン内の各 AMS-M2-Z 間のケーブルの最大長は 3 メートル。

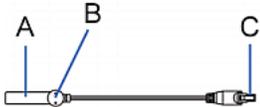
ブレード拡張ストリップの接続

1 つのシャーシに収められたブレード サーバの場合は、ブレード拡張ストリップを使用して個別のブレード サーバを追跡できます。

Raritan 社製のブレード拡張ストリップは、Raritan 資産センサーと同じように機能しますが、通常の資産センサーまたは AMS-M2-Z 上のタグ ポートに接続するためのタグ コネクタ ケーブルが必要です。ブレード拡張ストリップには、購入されたモデルに応じて 4 ~ 16 個のタグ ポートがあります。

図は、タグ コネクタ ケーブルと、タグ ポートが 16 個あるブレード拡張ストリップを示しています。

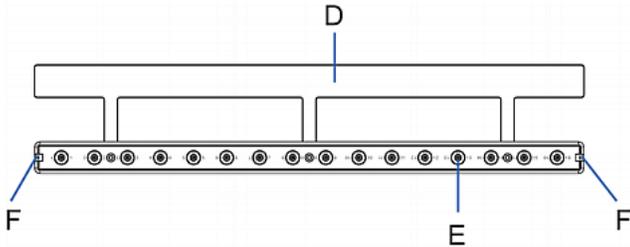
タグ コネクタ ケーブル



項目	説明
A	タグ コネクタ ケーブルのバーコード (ID 番号)
B	タグ コネクタ
C	ブレード拡張ストリップを接続するためのケーブル コネクタ

注: タグ コネクタ ケーブルには、接続された各ブレード拡張ストリップを識別するための固有のバーコードがあり、Raritan SNMP ゲートウェイ の Web インタフェースに表示されます。

ブレード拡張ストリップ



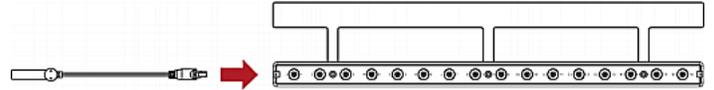
項目	説明
D	接着テープ付きのマイラー部分
E	タグ ポート
F	タグ コネクタ ケーブル接続用のケーブル ソケット

注: ブレード拡張ストリップの各タグ ポートには番号のラベルが付いており、これが Raritan SNMP ゲートウェイ の Web インタフェースでスロット番号として表示されます。

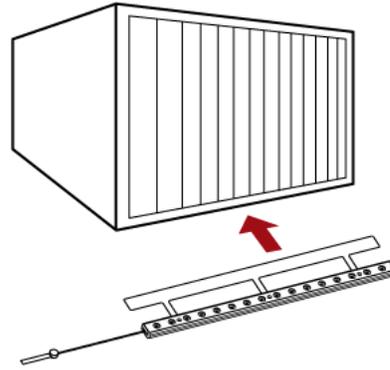
▶ ブレード拡張ストリップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. タグ コネクタ ケーブルをブレード拡張ストリップに接続します。

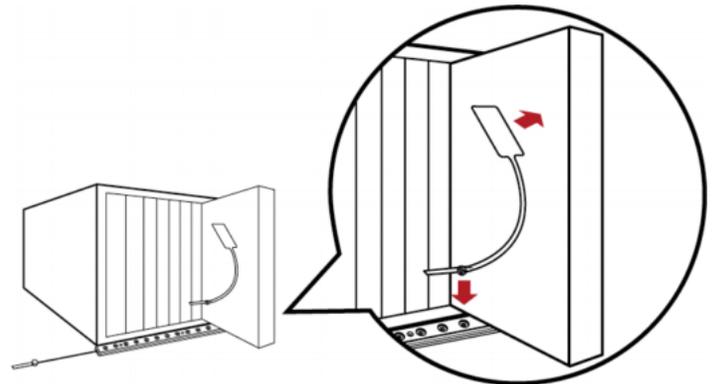
- ケーブルのコネクタをブレード拡張ストリップのいずれかの端のソケットに差し込みます。



2. ブレード拡張ストリップをブレード シャーシの下に入れて、マイラー部分が完全にシャーシの下に隠れるようにし、ブレード拡張ストリップが簡単に落ちないことを確認します。必要な場合はマイラー部分の裏の接着テープを使用してストリップの位置を固定できます。

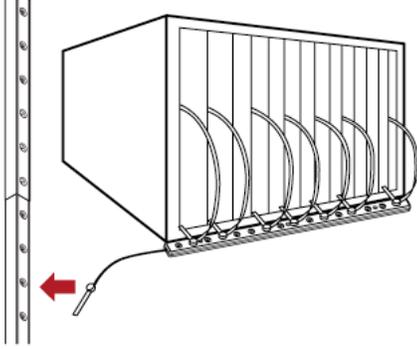


3. 資産タグの一方の端をブレード サーバに接続し、もう一方の端をブレード拡張ストリップに接続します。
 - a. 資産タグの接着部分をタグのテープでブレード サーバの片側に貼付します。
 - b. 資産タグのタグ コネクタをブレード拡張ストリップのタグ ポートに差し込みます。



4. 上記の手順を繰り返して、シャーシ内のすべてのブレード サーバを資産タグを使ってブレード拡張ストリップに接続します。

- ブレード拡張ストリップのタグ コネクタを資産センサー アセンブリまたはラックの AMS-M2-Z 資産センサーの最も近いタグポートに接続します。



注: ブレード拡張ストリップのタグ コネクタを一時的に取り外す必要がある場合は、1 秒以上経ってから接続し直してください。早すぎると、Raritan SNMP ゲートウェイ で検出されないことがあります。

次の処理手順

- LAN に接続したコンピュータで、ブラウザを開いて Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスの IP アドレスを指定します。
- ユーザ名およびパスワードを入力するプロンプトが表示されたら、ユーザ名には `admin` と入力し、パスワードには、Raritan SNMP ゲートウェイ の初期設定で割り当てた新しいパスワードを入力します。お使いの Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスに付属しているクイック セットアップ ガイドを参照してください。

注: `admin` ユーザのデフォルト パスワードは `raritan` です。初回ログインでパスワードを変更するように求められます。

- Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスの Web インタフェース ページが表示されます。
- Web インタフェースで各アセット センサー アセンブリを設定します。
 - 左側のペインで、アセット センサー アイコンのリストを含む [Feature Ports (拡張ポート)] フォルダを探します。

注: Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスの FEATURE ポートが 1 つだけの場合は、アセット センサー アイコンが 1 つだけ表示されます。

- 左側のペインで目的のアセット センサーのアイコンをクリックします。
- 右側のペインで [Setup (設定)] をクリックします。選択したアセット センサー アセンブリの設定ダイアログ ボックスが表示されます。
- アセット センサー アセンブリの名前、ラック ユニット (タグポート) の合計数、アセット センサー アセンブリの向きなど、必要な情報を入力します。

- アセット センサーは工場出荷時、すべての LED が自動動作モードに設定されています。アセット タグが検出されたかどうかに応じてアセット センサーの LED の色が変わります。LED 色は、Web インタフェースから設定できます。
 - 左側のペインで目的のアセット センサーのアイコンをクリックします。
 - 右側のペインで、選択したアセット センサーの目的のラック ユニット (タグポート) を選択します。
 - [Configure Rack Unit (ラック ユニットの設定)] をクリックして、LED のモードと色を含むラック ユニットの設定を行います。

注: 操作手順については、Raritan SNMP ゲートウェイ デバイスのユーザ ガイドを参照してください。

その他の情報

Raritan SNMP ゲートウェイ™ および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.co.jp) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープン ソース コードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。